

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	塚本駅前こここツリーハウス		公表日			2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		療育の内容によって、戸外での活動を取り入れるなど工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		十分に配置されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視覚支援を効果的に取り入れながら、わかりやすい支援を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		使用した玩具の消毒をこまめに行っています。	利用者の必要に応じた環境構成を、整えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		「スタールーム」を設置。ですが、完全なる個室はむずかしい環境です。	パーティションの導入等を検討。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員間で情報共有を欠かさず、療育の質を高めていく努力をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			いただいたご意見を真摯に受け止めながら改善していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的にミーティングを行い、業務の振り返りを行なっております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在予定はありませんが、必要があれば今後、検討させていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職員が自主的に研修を受けやすい制度を設け、積極的に資質向上を目指しています。	年間計画を立てながら、さまざまな研修を受講し、資質向上を目指しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページ上で公表されています。	利用者の状況やニーズに合わせ、定期的に見直してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		利用者のニーズを伺いながら、職員間で分析し、丁寧に作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		担当者会議を行い、職員の意見やアイデアも取り入れ支援計画を立てています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		療育の振り返りを常に行いながら、個々の目標を明らかに成長を見守っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		保育所保育指針等を参考にしながら、個々の成長を照らし合わせ無理のない指導計画を作成しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個々のニーズを捉え、優先順位を定めるなどして工夫して支援しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		個々に合わせたプログラムが工夫されています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節を感じられる活動や、目標設定も掲げながら工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の発達に応じた関わりに重視し、個別と集団活動のウエイトを適宜変更しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		利用者に応じた適切な支援ができるように、毎回、療育時間前に担当を振り分け、シュミレーションを行なっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の提供内容について、毎回振り返りを行い、次に繋げていけるように共通把握しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		提供後のフィードバックの徹底を重視し、必ず記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングはもちろん、日々の聞き取りも大切に支援に繋げています。	
関係機関や保護者との連携	24	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じ、当事者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用者が関わる関係各所に対して、保護者の協力の下、積極的に訪問するなど情報共有を大切にしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		実際に訪問をするなどして、当該児の発達面など、情報共有、相互理解を重ね、支援に反映しています。	訪問件数を増やししながら、より相互理解を深め、支援の質を高めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		関係機関にアプローチしながら、移行支援を積極的に行なっています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		職員が適材適所での研修等の機会が得られるよう、視野を広げていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		定期的に、自社の保育園との交流を実施しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		丁寧に提供記録に記載し、送迎時を利用しながら、口頭でも日々の様子を伝えるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者の声にも耳を傾け、適宜助言ができるように心がけています。	支援における細かな気づきも共有しながら相互理解に努めています。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に、お時間をいただき、読み合わせを行いながら共有します。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に、保護者の納得がいくまでモニタリング、アセスメントの機会を設け実施しております。	5領域に基づき、より細分化された計画を立案していきます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成後、保護者説明を欠かさず行います。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		利用者や家族の気持ちや様子の変化に敏感であるよう送迎の時間等を活用し、対話する時間を持つようになっています。	必要な時は、あらかじめ面談の機会を設けています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者参加イベントの開催	ニーズに合った保護者同士の繋がりの場を作ってまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れのあった場合、可能な限り、迅速に対応できるよう、職員間で共有しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎回の活動内容を報告したり、SNS・HP等も活用しながら発信しています。	翌月の活動予定の発表が遅れないようにより計画性を持って対応していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについて、定期的に注意喚起するとともに、取り扱いルールを厳しく定めています。	
	43	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		わかりやすい共有の方法を常に工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討予定です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年4回、職員対象にマニュアルテストを実施。つど、振り返り、改善策を講じています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月2回、想定を変えながら避難訓練を行なっています。年2回、同建物の保育園と合同で震災級の避難訓練を実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用契約時、フェイスシートを用いて、聞き取りを行います。必要な対応を保護者に確認し職員間で共有しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギー児に対しては、医師の診断書を提示いただくなど対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員対象に、AED心肺蘇生訓練を行なっています。避難経路、避難場所、公衆電話の場所の確認など共通把握しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		施設に掲示しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		あらゆる事項を対象にししながら、職員間で共有し、きめ細やかな療育の提供を目指しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止についての理解を深め、積極的に研修に参加しています。 虐待防止委員会開催。	年間計画を立て、各自研修を受講し、資質向上を目指しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		十分に説明しております。今後、該当のあった場合も、個別支援計画書にも漏れないよう記載していきます。		